

明日への風

若手・新人議員の5人が集う、 新会派「明日への風」を結成。

なぜ、新会派を結成したのか。

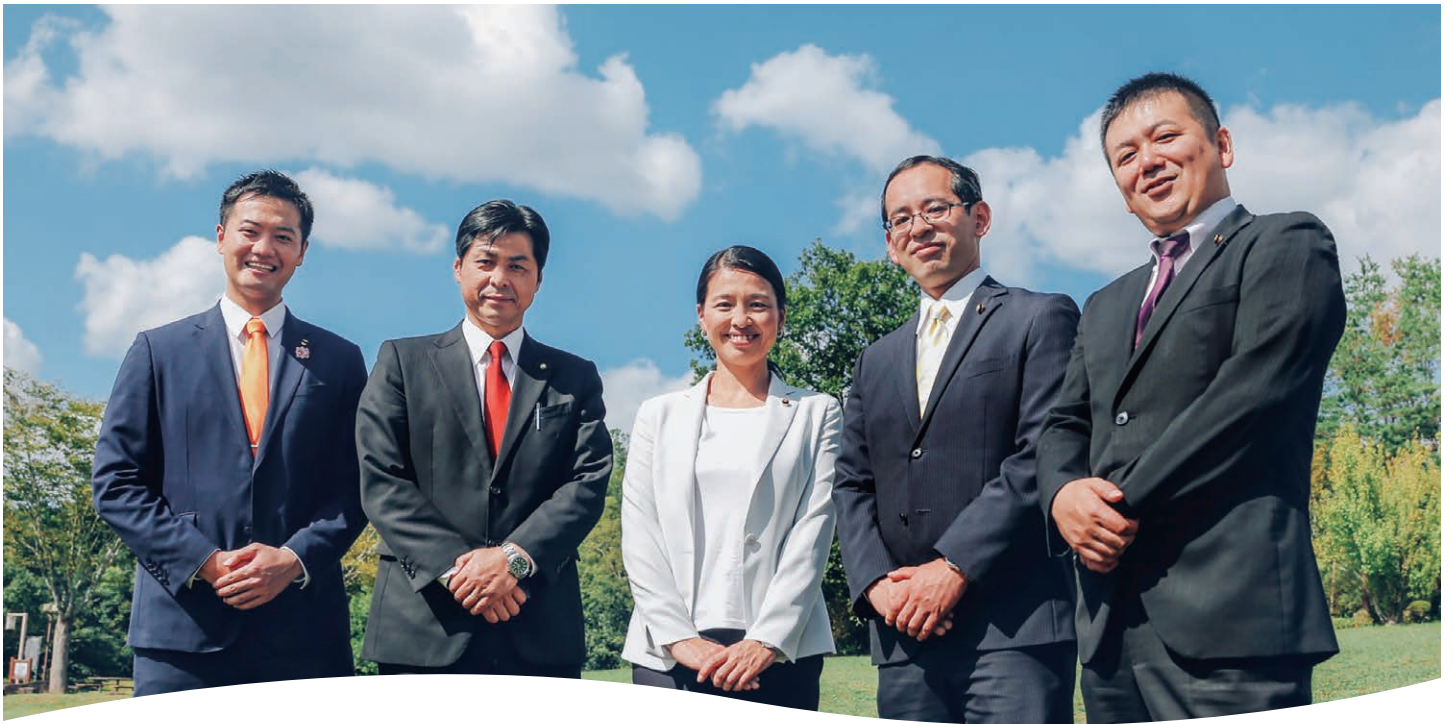
今ある会派に所属し活動するのか、あるいは無所属で活動するのか。

短い時間の中で決断をすることが難しかったことが背景にありました。

その中で、若手議員や新人議員だけで会派を作ること
も選択肢の一つではないかと考えるようになりました。

声掛けを行い、広がりができ、最終的には5人が集まり
新会派「明日への風」が誕生しました。





「^あ明日^すへの^か風^ぜ」は、若手議員と新人議員の 5人で構成されている新しい会派です。

会派の理念

- 1 より多くの方に市政や議会に関心を持っていただけるよう、活動をオープンにし、市民参加型の会派を目指します。
- 2 次の世代が市政にチャレンジできるよう、未来を見据えて活動をしていきます。
- 3 思想信条を超えて、自由闊達^{かっかつ}な意見交換と議論を大切にします。



ごあいさつ

代表 掛田勝彦

会派を代表して市民の皆様にご挨拶を申し上げます。新人議員の掛田勝彦と申します。会派では一番年上ということもあり、代表を引き受けました。

三次市合併からも16年が過ぎました。この間だけをとっても、社会環境が目まぐるしく劇的に変化してきています。私たちは、この大きな変化の中で、市民の皆様とともに街づくりや地域づくりを考えてまいりたいと思います。

今後とも指導のほど、よろしくお願いいたします。



議会活動報告

6月定例会、9月定例会での一般質問の内容や、常任委員会での取り組みなど、各自が取り組んでいることをお伝えします。

掛田勝彦

希望して産業建設常任委員会に所属しました。委員会では担当する内容について協議したり現地視察に行ったりしています。

現地視察では、平成30年豪雨災害による工事場所に行きました。改めて被害の大きさについて説明を受け、感じるものがありました。最近では、有害鳥獣対策の現状確認と最新の被害防止対策の市内先進地域の取り組みを視察しました。改めて三次市は、広くそれぞれの地域に文化や暮らしがあることが想像できました。

このような経験を活かして、政策提言ができるように力量を高めたいと思います。



藤岡一弘

9月定例会において、三次市に市民生活や学校・スポーツ振興など、5点の提案や質問を行いました。

これからの街づくりや市民の皆様の生活を提案する一般質問という場では、医療現場の混乱を防ぐためにも、インフルエンザが流行しやすく、費用負担が大きい子どもがいる世帯に対して、予防接種を助成する制度の新設を提案しました。

また、三次市の令和元年度の活動を審議する予算決算常任委員会では、学校に行くことが困難になった不登校児童・生徒の学習支援や居場所づくりの更なる進展などについて、要望や意見を発言しました。



山田真一郎

この度の9月定例会では初めてということもあり、地元の皆様から沢山の言葉を頂いた馬洗川右岸（畠敷・願万地）の内水対策と公共下水道事業について質問を致しました。

現在、三次市ではこれ以外にもコロナ対策、給食調理場等々、様々な事業が進んでおります。市民の皆様に対する情報公開はまだまだ足りておりません。議会では、皆様知りたい事は何かを意識し、疑問が少なくなればと考えながら発言しております。

議員になり、まだ半年あまりではございますが、皆様の代弁者として堂々と頑張っております。



徳岡真紀

みなさんの日々の暮らしの中の「困った、不安だ」「もっとこうしてほしい」といった声を伺う機会をと、毎月一回「とくおカフェ」という時間を設けています。どなたでも何時からでも参加いただけるゆるい会です。

前回の「とくおカフェ」では、“近所に野良猫が増えて困っている”という声を伺いました。そこで広島県の「地域猫活動」という取り組みを活用し、広島県動物愛護センターから地域に説明に来ていただきました。その後、常会で取り組むことが決まり、広島県から承認をいただき、困りごとの解決につなげることができました。人と動物が共存できる社会へこれからも活動していきます。



増田誠宏

6月・9月定例会にて一般質問を行いました。主な内容として、平成30年豪雨による農地の災害復旧の見通し。今後の財政計画の正確性、過疎債の動向や三次市への影響。新型コロナウイルス感染症への経済対策。キャッシュレス化ポイント還元事業における中小企業への導入支援や市民への使い方講座の提案などです。

常任委員会の中でも積極的に発言するよう

心がけました。主な内容として、教育民生常任委員会では学校給食調理場について、保育事業に関する条例改正、学校ICT活用事業にてiPad購入など。予算決算常任委員会では、持続可能な地域交通の構築として芸備線・福塩線の利用促進、中学生の英語学習応援事業の成果、母子保健推進経費に関連して父親への支援についてなど質問をしました。



5月

第1回三次市議会 臨時会

改選後、初の臨時会が開会されました。この臨時会では、議長や副議長の選挙やその他の人事、条例の改正、補正予算（第2号）などについて審議を行いました。

新人議員研修会

（三次市の主要事業及び計画について）

会派の中で、今年初当選し、1年目を迎える4人の議員が、新人研修会に出席しました。研修会では、三次市の街づくりの実施計画や財政計画を始め、福祉・教育・農業・水道・環境など、市民生活に関わる基本的な行政が行っている取り組みを研修しました。



市長への挨拶の様子

6月

6月三次市議会 定例会

改選後、初の定例会を迎え、会派からは3人の議員が一般質問を行いました。6月定例会では、議案審査を始め、コロナウイルスへの対応を中心とした補正予算（第3号）や副市長選任の同意について審議しました。

市議会議員になり早半年が経ちました。仕事中心であった生活から大きく変わり、現在は朝の児童生徒の見守りから始まります。元気よく登校する子どもたちの姿を見ると明るい気持ちになります。その後は保育園へ送り、自由気ままに動き回る我が子に悪戦苦闘の毎朝です。

子育てや地元企業で働いていた経験を活かして、誰もが住み続けたいと思えるまちづくりに取り組みます。

増田 誠宏

私から
ひと言

我が家は、代々兼業農家として、お米作りをしてきました。毎年、コシヒカリやもち米などを作っています。今年は7月の低温や日照不足の影響により、お米の収穫量が減少するのではないかと心配していましたが、無事に稲刈りが終わりました。

皆さんの食卓にも、三次の農家の方々が作られた新米が届いているのではないのでしょうか。新米を食べるのが楽しみです。

藤岡 一弘

7月

第2回三次市議会 臨時会

第2回の臨時会では、議案審査や補正予算（第4号及び第5号）について審議しました。

新人議員研修会

（災害発生時の対応について）

三次市で発生する恐れがある自然災害への対応について、議員の行動を示した災害対応マニュアルを中心に研修しました。

会派勉強会

（観光政策について）

国内に向けた観光需要喚起施策として、「Go To キャンペーン」が実施されるにあたり、講師に有田隆司氏をお招きし、国の観光政策や三次市の観光における地域振興について勉強会を開催しました。



8月

会派勉強会

（地域猫活動について）

近年、三次市においても野良猫が増加しています。そこで、講師に吉高眞貴氏をお招きし、地域が主体となって、野良猫によるトラブルを減らすとともに、不幸な野良猫の数を減らして、住みよい地域にしていく活動である「地域猫活動」について勉強会を開催しました。



新人議員研修会

（水道事業について）

三次市水道局から職員2人を招いて、主に下水道事業についての研修に参加しました。水道事業及び下水道事業は、市民の皆様の生活や暮らしに大きく関わる事業です。これからの豊かで快適な生活環境のあり方を考える機会になりました。

9月

9月三次市議会 定例会

定例会では、会派から3人の議員が一般質問を行いました。条例の改正や補正予算（第6号及び第7号）の審議、そして、令和元年度の決算審査において、三次市の令和元年度の支出が適正に行われたのかを審議しました。

